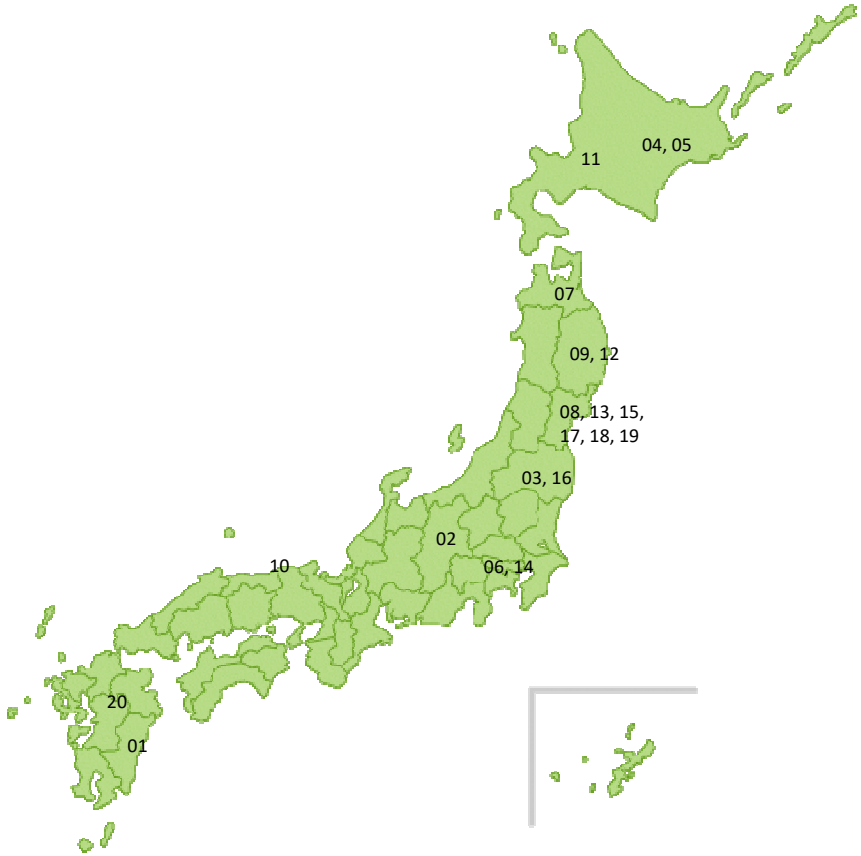
一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所

令和３年度（第２期）
事業報告書

作成：　2022/5/27
更新：　2022/6/20

令和3年（2021年）度　実施事業一覧

01. 国立・国定公園をつなぐ九州自然歩道の新しい一歩づくり事業（宮崎県）
02. 妙高戸隠連山国立公園のロングトレイルを活用した滞在型ツアーの造成（長野県）
03. みちのく潮風トレイルの南端に続く、福島のうつくしま浜街道トレイル（仮）の造成（福島県）
04. 阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク構築推進業務業（北海道）
05. 摩周地域トレイル道標設計業務（北海道）
06. ロングトレイルの維持管理・運営システム構築に向けたあり方検討業務業（環境省）
07. 東北自然歩道 十和田湖トレイル（仮称）設定のためのロングトレイル勉強会＋連絡会（青森県）
08. みちのく潮風トレイルを活用した教育旅行/企業研修向けツアープログラム造成事業（宮城県）
09. みちのく潮風トレイルを歩いて国立公園を楽しもう！海の美術館メッセージアート展（岩手県）
10. 山陰海岸国立公園ロングトレイルを活用した広域利用推進支援業務（山陰地方）
11. 札幌ラウンドウォーク 道標設置講習（北海道）
12. 普代村ガストロノミー事業（岩手県）
13. 広田小学校web授業業務（宮城県）
14. ハイカーを対象とするヒアリング調査の支援業務（東京都）
15. 歩こう動こう 脱メタボプロジェクト業務（宮城県）
16. ラジオFMいわき「いわきの歴史」業務（福島県）
17. 宮城県野外教育ネットワーク（MON）業務（宮城県）
18. みちのく潮風トレイルのトレイル調査活動(リッジランナー)
19. みちのくトレイルクラブのアドバイザー業務
20. 九州自然歩道40周年記念シンポジウム開催支援業務



事業名／業務名	国立・国定公園をつなぐ九州自然歩道の新しい一歩づくり事業
事業実施期間	令和３年７月２６日～令和４年２月１５日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 **(2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング** (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省：令和２年度（補正予算）国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業
一部委託先	九州自然歩道フォーラム NPO法人みちのくトレイルクラブ 一社）サイレントヴォイス
事業概要	1980年に開通した「九州自然歩道」の宮崎県コース約350kmをモデルに、今後の九州自然歩道再興の第一歩となる事業を計画し、環境省補助金に申請した。宮崎県内全線を利用者目線で調査し、地域資源の掘り起こし、通行の可否の確認、一部整備等を行い、ハイキングマップ及びデータブックを制作した。 又、霧島錦江湾国立公園や祖母傾国定公園など素晴らしい自然環境と里山文化に触れる2泊3日程度のアドベンチャーツアーを造成し、モニターツアー、募集型ツアーを実施すると共に、モデルコースの提案も行った。短距離から親しんでもらい九州自然歩道の認知を広げ、長距離ハイキングを好む国内及び欧米豪のハイカーが必要な沿線の情報を収集・整理・発信し、九州自然歩道の利用機会を拡大させ、環境意識醸成、交流人口拡大、地域振興につなげるための試みである。 年度終盤にはトークイベントを実施し、長く歩く旅の意味や価値を伝え、先進事例として同じ長距離自然歩道である東北の「みちのく潮風トレイル」の事例を伝えると共に、現地調査の結果も報告した。2020年度に宮崎県が実施した現地調査を元に事業を展開し、今年度事業に続けて次年度さらに宮崎ルートへの取り組みを発展・継続することを視野に事業展開した。
実施内容	１）九州自然歩道宮崎県コース約350kmの全線調査 (ア)宮崎県内14市町を通るコースの実踏査 (イ)各市町へヒアリング ２）データブック及びマップ制作 (ア)データブックの作成 (イ)マップブックの作成 ３）アドベンチャーツーリズム／ツアーの実施 (ア)全線調査をもとに、滞在型ツアーの候補地、体験プログラムを選定（２カ所） (イ)モニターツアーの催行（1回）2泊3日 (ウ)募集型滞在ツアーの催行（１回）３泊４日 (エ)アドベンチャーツーリズムとしての要素 ４）トークイベントの実施 調査やモニターツアーを実施後、九州自然歩道及び沿線市町の周知のために実施。コロナウィルス感染拡大状況を鑑みオンラインで実施（918回視聴／2022.05月時点） https://youtu.be/8-b1XOHPtmw (ア)講演 ①「長く歩くという旅」長谷川晋（トレ研） ②「みちのく潮風トレイルの事例」相澤久美（NPO法人みちのくトレイルクラブ） ③「宮崎県の実踏調査報告」　高代勇人（宮崎ハイキングクラブ（仮）） （イ）クロストークセッション ①成崎 聡｜九州自然歩道フォーラム副代表、現地ガイド ②鬼束 賛｜宮崎県環境森林部 自然環境課 自然公園室 主査 ③日高 葵｜株式会社訪う 代表取締役 ④相澤 久美｜NPO法人みちのくトレイルクラブ常務理事 ⑤長谷川 晋｜トレ研

写真・チラシ

全体スケジュール

項目		令和3年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月
1 関係者会議	計画										
	実績										
2 1） 九州自然歩道宮崎県コース約320kmの全線調査 (ア)　宮崎県内15市町村を通るコースの実踏査／現地調査行程の検討、情報収集、現地調査	計画										
	実績										
3 1） 九州自然歩道宮崎県コース約320kmの全線調査 (イ) 各市町村へヒアリング／各市町村へのヒアリング	計画										
	実績										
4 2） データブック及びマップ制作 (ア)データブックの作成	計画										
	実績										
5 2） データブック及びマップ制作 (イ) マップブックの作成	計画										
	実績										
6 3） アドベンチャーツーリズム／ツアーの実施 (ア)全線調査をもとに、滞在型ツアーの候補地、体験プログラムを選定（２カ所）	計画										
	実績										
7 3） アドベンチャーツーリズム／ツアーの実施 (イ)モニターツアーの催行（1回）2泊3日	計画										
	実績										
8 3） アドベンチャーツーリズム／ツアーの実施 (ウ)募集型滞在ツアーの催行（１回）３泊４日	計画										
	実績										
9 4） トークイベントの実施	計画										
	実績										
10 報告書の作成	計画										
	実績										

事業番号-2021-02

事業名／業務名	妙高戸隠連山国立公園のロングトレイルを活用した滞在型ツアーの造成
事業実施期間	令和３年８月４日～令和４年１月１５日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 **(2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング** (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省：令和２年度（補正予算）国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業
一部委託先	合同会社しなのディスカバリー NPO法人みちのくトレイルクラブ NPO法人信越トレイルクラブ 一社）サイレントヴォイス
事業概要	ロングトレイル、アドベンチャーツーリズムは、2020年以降世界を覆うコロナ禍の中、密を避け心身の健康増進にも資するデスティネーションとしてますます脚光を浴びている。日本の国立公園・国定公園には海外に誇れる自然景観、里山文化がある。 妙高戸隠連山国立公園のロングトレイルは、町と自然を繋ぎ、地域の人々の暮らし、歴史文化、生業を体験できる魅力あふれるルート。このトレイルに、今後国内外の歩く旅人を招き入れ長期滞在を促し、地域の交流人口拡大と経済振興に寄与する地域資源として育て、持続可能な地域づくりと、持続可能な観光地の中核とすることを本事業の目的とする。 2021年度に全線開通を予定する妙高戸隠連山国立公園のロングトレイル約80kmの歩道整備（道標設置、路体整備）、並びに全線をアプローチしやすいいくつかのセクションに分け、２泊3日程度の複数のアドベンチャーツアーを造成するとともに、モニターツアーを通して発信した。開通すれば国内外でも人気のある信越トレイルとも接続し、妙高戸隠連山国立公園から上信越高原国立公園までを歩いて繋げる魅力的な官民連携のロングトレイルとなる。安心安全に多くの方に歩いていただき、国立公園の周遊利用を促進する。
実施内容	１）事業計画の策定 (ア)トレイル整備、ツアー造成、マップブック作成、PR、トークイベント等の計画全体を関係者で共有・推進するため、全体会議を5回開催 ① 8/10、25、27、10/4、12/8 ２）モニターツアー、意見交換会の実施 (ア)2泊3日ツアー 1回（斑尾山ー野尻湖ー苗名滝） (イ)3泊4日ツアー 1回（長野ー戸隠ー妙高笹ヶ峰） (ウ)各ツアー実施に合わせて意見交換会を実施 ３）トレイル調査・データブックおよびマップブック制作 (ア)データブックの制作（内部資料のみ） (イ)マップブックの制作 ４）路体整備作業の実施、簡易道標の設置 (ア)道標総数 223ケのうち、133ケ設置（完了率 60%） ５）スルーハイカーによるPRハイク (ア)９月：清田勝氏、カメラマン福本氏（５日間） (イ)11月：土屋智哉氏（4日間） (ウ)PR媒体 Instagram、VOICY、山と道ジャーナル、TRAILS、Hiker's Depot等 ６）誕生トークイベントの実施 あまとみトレイル概要や地域文化、スルーハイカーからのトレイルの魅力紹介などを中心にトークイベントを開催し、youtubeで配信（725回視聴：2022.5月時点） https://youtu.be/icrm_V3ARLg ① あまとみトレイルの紹介｜林部直樹／西田幸平（あまとみトレイルクラブ） ② 水の十字架、野尻湖ヒストリア｜吉原宣克 ③ あまとみトレイルを歩いて｜ハイカー 清田勝 ④ 歩く旅の魅力と「みちのく潮風トレイル」の事例｜長谷川晋 ⑤外国人が期待する日本の旅｜永島 イングリス 夕子 ⑥クロストーク「あまとみトレイルの利用促進と今後の運営について」｜海津ゆりえ、林部直樹、永島イングリス夕子、松澤千尋、長谷川晋

写真・チラシ

全体スケジュール

項目		令和3年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月
1 簡易道標の設置	計画										
	実績										
2 路体の整備	計画										
	実績										
3 複数のセクションツアールートの検討	計画										
	実績										
4 モニターツアー、意見交換会の実施	計画										
＜実績＞ ① 10/11-14、② 10/18-20	実績										
5 スルーハイカーを招聘してのPRハイク	計画										
＜実績＞ ① 9/26-30、② 11/2-5	実績										
6 トークイベントの開催	計画										
＜実績＞ 12/12	実績										
7 データブックの整備及び、マップデータの作成	計画										
	実績										

事業番号-2021-03

事業名／業務名	みちのく潮風トレイルの南端に続く、福島のうつくしま浜街道トレイル（仮）の造成
事業実施期間	令和３年８月６日～令和４年２月１５日
事業種別	⑴歩き旅に関する調査・研究 **⑵トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング** ⑶教育・研修・セミナー等の企画・運営 ⑷CSR支援 ⑸地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 ⑹トレイル関連商品のコンサルティング ⑺その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	NPO法人みちのくトレイルクラブ
一部委託先	―
事業概要	東日本大震災後、青森県から福島県を繋ぐロングトレイルとして全線開通した東北太平洋岸自然歩道の南、福島県浜通りにロングトレイルを敷設する。 国内外の多くのハイカーは、みちのく潮風トレイル（MCT）が相馬市で終わることに疑問を呈す。被災４県沿岸全てを一本に繋ぎ歩いて旅することができるようにし、東北沿岸の「豊かな暮らし」と「歴史文化」、「自然と人の共生」、震災・津波・原発事故という複合災害であった「東日本大震災の記憶」等から学びを得られる類稀なロングトレイルとして確立する。福島県まで道をつないでストーリーを明確にし、発信力を高め、より多くの方々を東北に誘い、100年、200年と震災の記憶を継承し、東北沿岸の振興に資する道とする。 本事業名の通り、MCTを更に福島南端まで歩いて旅するようにすることは、MCT本来の使命を明確にし、歩く距離が長くなることで魅力を増し、MCT自体の利用をさらに拡大することにもつながる。被災４県を端から端まで歩けるようにし、誘客に課題を持つ福島沿岸にも多くのハイカーがハ戸からスタートし、いわき市勿来まで歩くようになれば、福島沿岸もMCT同様、交流人口、関係人口の増加に繋がり、新たな産業の創出から移住促進にもつなげることができる。MCTの利用拡大のためにも、福島浜通り地域を歩いて旅するロングトレイルを造成し、東北沿岸全域の地域振興に寄与する。
実施内容	１）コンテンツの造成に係るコンサルティング、事業計画の策定 （ア）関係１３自治体との会議 （イ）説明会（ヒアリング／ワークショップ）の開催 ①12月：新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、楢葉町、広野町 ②１月：いわき市 ③５月：葛尾村、川内村、大熊町、富岡町、双葉町 （ウ）事業計画の策定 ①トレイルルートの作成 ②全線を分割したモデルコースの作成 ③運営計画の提案 （エ）事業実施計画の策定 ①ロードマップの提案 ２）自然環境状況の調査や利用状況の調査等、コンテンツ造成に向けた必要な調査 （ア）ルート調査／現地調査 ①トレイル地図作成に必要な現地調査 ②トレイル地図の元データの作成 ③データブック用データのとりまとめ （イ）トレイル上の観光資源等の調査／オンライン調査 ①トレイル地図に掲載する観光資源等の調査 ②データブックに掲載する観光資源等の調査 ３）テストマーケティングまたはファムトリップの実施 （ア）ファムトリップの実施 ４）コンテンツ造成に係るパンフレットやホームページ等の情報発信媒体の整備及び多言語化・デジタル化・キャッシュレス化 （ア）簡易パンフレットの作成

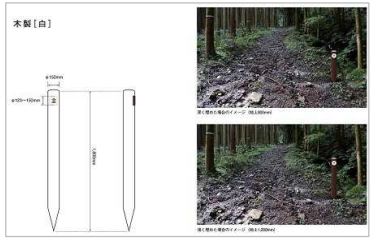
写真

モデルコース

事業番号-2021-04

事業名／業務名	令和３年度 阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク構築推進業務
事業実施期間	令和３年１１月８日～令和４年３月２５日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省阿寒摩周国立公園管理事務所：令和3年度阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク構築推進業務
一部委託先	―
事業概要・実施内容	阿寒摩周国立公園は国立公園満喫プロジェクトを推進する公園に指定され、インバウンド対応の取組の一つである「アドベンチャートラベルの推進」では、国立公園内や接するトレイルをつなぎ、長期滞在しながら自然や文化を楽しめる場を提供していくこととしている。 阿寒摩周のトレイルは、カルデラ地形や台地などの複雑で多様な環境や景観を楽しむことができる半面、長大なトレイルであることから関係自治体も複数に渡り地域によって取り組み状況に差が生じている。また、各トレイルのネットワーク化は、一元的・統一的な広報や標識、トレイルの維持管理などの面で大きな利点があるが、誰がどの様に管理していくのが適切か、ということについては検討されていない状況である。 本業務は、各ロングトレイルについて現地調査や地域の取組について情報収集を行い、トレイルネットワークとしての管理運営体制構築に向けた方向性を検討するために実施した。 1）現地調査の実施（2日間、11/9-10） 2）関係自治体・団体へのヒアリング （ア)美幌地区三町連携広域観光協議会、NPO法人てしかがトレイルクラブ、クスリ凸凹舎、NPO法人きよさと観光協会、小清水町観光協会、北根室ランチウェイ、知床しゃり 3）ネットワーク構想、管理運営体制構築等に関する報告書作成
写真等	

事業番号-2021-05

事業名／業務名	令和２年度（繰越）摩周地域トレイル道標設計業務
事業実施期間	令和３年１２月２０日～令和４年３月２５日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省阿寒摩周国立公園管理事務所：令和２年度（繰越）摩周地域トレイル道標設計業務
一部委託先	合同会社マトイクリエイティブ
事業概要・実施内容	阿寒摩周国立公園は国立公園満喫プロジェクトを推進する公園に指定され、インバウンド対応の取組を計画的・集中的に実施している。その取組のひとつである「アドベンチャートラベルの推進」の一環として、阿寒摩周国立公園内及び接するロングトレイルをつなぎネットワーク化することにより、長期滞在しながら国立公園をはじめとした自然環境や文化を歩きながら楽しめる場を提供していくこととしている。 本トレイルネットワークは複数のロングトレイルをまたがって利用される想定だが、個々のロングトレイルとしての標識は一部あるものの、共通したサインは無いことから、利用者が安心して歩ける環境として整っていない。 本業務は、トレイルネットワークを安心して歩けることを目的として設置する道標（キロポスト）について設計を行った。 1）デザイン、材質、設置パターン検討等の協議・打ち合わせ 2）基本設計 3）実施設計 4）報告書作成
写真等	

事業番号-2021-06

事業名／業務名	令和3年度ロングトレイルの維持管理・運営システム構築に向けたあり方検討業務
事業実施期間	令和３年12月15日～令和４年３月１８日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 **(2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング** (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省
一部委託先	―
事業概要・実施内容	ロングトレイル(長距離自然歩道)は、昭和 45 年に設定が開始され、現在その総延長は約28,000kmに及んでいる。一方、その歴史は 50 年を超え、一部の路線においては施設の老朽化や維持管理の担い手不足等による路線の維持、運営面での課題に直面している。そのような中、令和2年の新型コロナウィルス感染症拡大の影響もあって、人々の価値観やライフスタイルに変化が起きつつあり、ロングトレイルの価値（人々の心身の健康、地域循環共生圏を構成する重要な一要素）への期待が高まっている。 我が国の長大なトレイルにおいて快適かつ安全なトレイルの利用に必要なサービスの提供を持続的に行うため、本業務においては、近年の社会情勢を踏まえつつ次の50年を見据えて、令和3年に構想発案から 100 年を迎えるアパラチアン・トレイル等の先進事例も参考に、地域社会におけるロングトレイルの望ましい位置付け、整備、維持運営、利用のあり方等を検討し、提言書としてとりまとめを行った。 １）有識者懇談会の開催（全３回、１/１０、２/２１、３/５） （ア)渡辺綱男、木村宏、梅津ゆりえ、佐々木豊志、勝俣隆、神田修二、福島優、大西宏、節田重節、多田稔子、土屋智哉、ボール・クリスティ各氏 ２）提言書の作成を見据えた論点の抽出及び取りまとめ ３）業務全般の打ち合わせ
写真等	

事業番号-2021-07

事業名／業務名	東北自然歩道 十和田湖トレイル（仮称）設定のためのロングトレイル勉強会＋連絡会
事業実施期間	令和４年３月２日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	株式会社みどり （令和３年度東北自然歩道奥入瀬渓流歩道等利用促進業務の一部を受託）
一部委託先	合同会社マトイクリエイティブ
事業概要・実施内容	東北自然歩道は計画延長4,374kmのうち半分以上が連絡コースであり、ワンデイルートが多く設定されている。今回のトレイル構想は、青森県が事業主体となり東北自然歩道を一部計画変更して東北自然歩道の既存区間を連結し、アクセスの基点（八戸駅）から国立公園内の核心的景観地（十和田湖）まで、数日間の歩行で至るルートとし、国立公園外も含め旅行者の滞留時間を増大させ、交流人口の拡大を図る。 本構想においては、維持管理面では従前の管理で維持できるルート計画とし、運営面では民間への協力を仰ぎ、地域の道として定着させることを念頭に置いている。本取り組みを今後も推進していくにあたり、ロングトレイルに対する連絡会と構成員の理解向上のための内部関係者向け勉強会を企画し、地域で取り組みを推進する機運醸成の場とした。 １）十和田湖トレイル（仮称）設定のためのロングトレイル勉強会＋連絡会 （ア)令和4年3月2日　14:00～17:00 @ユートリー（JR八戸駅前） （イ)出席者：現地参加 9名、リモート参加 11名 青森県観光企画課、八戸市観光課、十和田市商工観光課、南部町商工観光課、五戸町総合政策課、十和田奥入瀬観光機構、VISITはちのへ、自然公園財団、環境省十和田八幡平国立公園管理事務所、八戸自然保護官事務所
写真等	

事業番号-2021-08

事業名／業務名	みちのく潮風トレイルを活用した教育旅行/企業研修向けツアープログラム造成事業
事業実施期間	令和３年７月９日～令和４年２月２８日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング **(3)教育・研修・セミナー等の企画・運営** (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	NPO法人みちのくトレイルクラブ
一部委託先	—
事業概要・実施内容	みちのく潮風トレイルの雄勝～女川エリアにて、教育旅行・企業研修向けツアープログラムを造成し、同地域における地域住民のトレイルへの興味関心を高めるとともに、教育機関や企業を誘客することで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。 プログラム開発において、ロングトレイルを歩く長距離ハイカーとしての視点から助言・監修を行うとともに、地域住民のハイキングへの理解を促すことを目的として、ロングトレイルやトレイルと地域の関わりについて適宜講話を行った。またルート踏査に同行し、プログラムに適したルート策定、モニターツアー同行などを請け負った。 １）検討会等（全4回、各回1日の計4日）への参加 （ア)7/8、8/2、11/1、12/13 ２）ルート踏査（1回、1泊2日）への同行 ３）ガイド講習会（1回、1泊2日）への参加 ４）モニターツアー（1回、2泊3日、11/12～14）への同行 ５）全体監修
写真等	

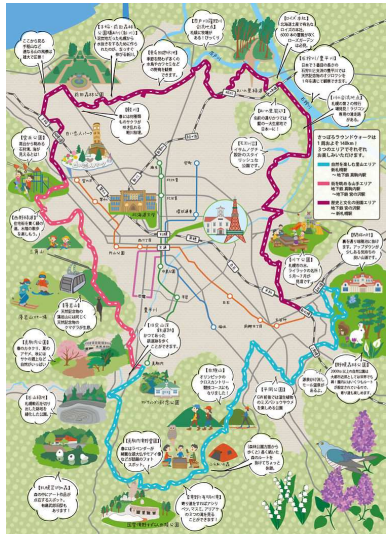
事業番号-2021-09

事業名／業務名	みちのく潮風トレイルを歩いて国立公園を楽しもう！海の美術館メッセージアート展
事業実施期間	令和３年6月29日～令和４年10月31日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	NPO法人みちのくトレイルクラブ （NPO法人日本ビーチ文化振興協会）
一部委託先	—
事業概要・実施内容	三陸復興国立公園の誘客推進を目的とし、みちのく潮風トレイルを活用した滞在型ツアーを設定し、親子を対象とした自然・文化体験の機会を設け地域を存分に堪能いただきリピート効果を狙う。また、国立公園を全国へ啓発する手段として、浜辺景観を活かした「海の美術館」を設け、海の生物、海辺、地元愛をテーマにデザインや写真等の作品を幅広く募集し、その作品を白いTシャツにプリントしたものを浜辺に展覧し、フォトジェニックな場所として話題性の高いイベントを演出する。 上記企画内において、「みちのく潮風トレイルを楽しもう！」ハイカーと一緒に歩く親子ツアーを造成し、初心者に向けた自然、文化、生業、景観を堪能できるハイキング企画を設計し、同行、運営を行った。 １）トレイルツアーコース設定 業務への協力 （ア)コース設定監修 （イ)地元振興のための 宿泊先紹介 （ウ)トレイルツアー内でのお楽しみ企画（星空教室）の共同企画 （エ)トレイルツアー総合アドバイス ２）トレイルツアー実施、同行（2日間、10/16-17）
写真等	

事業番号-2021-10

事業名／業務名	令和3年度山陰海岸国立公園ロングトレイルを活用した広域利用推進支援業務
事業実施期間	令和３年12月15日～令和４年３月１８日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	株式会社一成
一部委託先	—
事業概要・実施内容	令和2年2月に全線開通した「山陰海岸ジオパークトレイル」は、その日本海に沿った大部分が山陰海岸国立公園区域に含まれ、近畿自然歩道や中国自然歩道と重複する区間も多い。「山陰海岸ジオパークトレイル」のコンセプトは、「海わたり、街つなぐ」であり、鳥取県鳥取市から京都府京丹後市までの全長230kmを、日本海に沿った自然景観に恵まれたトレイルである。 本事業では、全国のロングトレイルの実情に精通している有識者として現地視察に同行して助言を行い、ロングトレイルの本質である広域利用を主眼においた管理運営体制の構築を支援することを目的として実施した。 1）現地視察（2日間、3/9～10） (ア)視察地 ①鳥取県岩美町（網代漁港～浦宮海岸） ②兵庫県香住町（今子浦～沖浦） ③京都府京丹後市（五色浜～小天橋） (イ)参加者 環境省近畿地方環境事務所、山陰海岸ジオパーク推進協議会、トレイルガイド、（株）一成、NPO法人みちのくトレイルクラブ、トレ研
写真等	

事業番号-2021-11

事業名／業務名	札幌ラウンドウォーク 道標設置講習
事業実施期間	令和３年5月15日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	NPO法人ウォークラボ札幌
一部委託先	—
事業概要・実施内容	札幌ラウンドウォークは、「歴史と文化の田園エリア」「自然を楽しむ里山エリア」「街を眺める山手エリア」という３つのエリアからなる環状コースで、人口200万人の札幌市が有する自然、歴史、文化の魅力を余すことなく体感できる歩くコースを目指して設定された。このコースは新しく建設するものではなく誰もが自由に歩くことのできる既存の公道、都市公園、緑道、河川敷、自然歩道などをつなぎ合わせたものである。 2017年度から2年間にわたり、北海道大学観光学高等研究センターが主催して観光創造研究が行われ、その後2019年度から２年間、札幌市およびエコ・ネットワークの協力を仰ぎ研究会が継続されてきた。これらの研究会の具体的な成果の一つとして、『さっぽろラウンドウォーク』という名称の札幌市街地の周囲をぐるっと一周する約140kmの歩く道となったが、今後より多くの人の利用を促すため、誰もが歩きやすい道となるよう道標設置についての講習を行い、利用促進に寄与することを目的とした。 1）道標設置講習の実施（1回、5/15） (ア)講習（路体管理と道標管理、管理台帳、地図、設置許可、調査等） (イ)道標個票雛形、調査マニュアルの提供 (ウ)実地調査（一部区間）
写真等	

事業番号-2021-12

事業名／業務名	国立公園及びみちのく潮風トレイルの利用促進のためのトレイルガストロノミーツアー
事業実施期間	令和３年7月30日～令和４年1月31日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	NPO法人みちのくトレイルクラブ （国立公園の利用促進のためのトレイルガストロノミーツアーの造成事業）
一部委託先	—
事業概要・ 実施内容	みちのく潮風トレイルのルートとなっている普代村において、長距離自然歩道みちのく潮風トレイルと地域の魅力を発信する「トレイルガストロノミーツアー」を造成した。合計６日間で久慈、野田、普代、田野畑の４市村のコース数十キロを歩きながら、郷土料理や伝統芸能、観光名所を楽しんでもらう東北初の試みで、北三陸の豊かな自然と食の魅力を伝える企画。 ツアーにはハイキングを愛好する首都圏在住者ら１２人が参加し、普代村の宿泊施設を拠点に５泊６日で４市村を周遊した。ファムトリップでは各地のトレイルコースを巡り、郷土料理など地域の魅力を感じる体験を提供した。 1）ハイカー目線での地域の魅力の提案 2）ツアーコース案の策定 3）モニターツアーへの参加、同行、補助 (ア)太田名部番屋～くろさき荘、鵜鳥神社～普代商店街 (イ)北山崎～机浜
写真等	

事業番号-2021-13

事業名／業務名	広田小学校web授業「世界のトレイルとみちのく潮風トレイル」講師登壇
事業実施期間	令和3年7月14日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	陸前高田市立広田小学校
一部委託先	—
事業概要・ 実施内容・ 写真等	広田小学校6年生の卒業制作として、みちのく潮風トレイルの地域情報を自分達で調査・掲載するマップ制作のために、ハイカー目線でのお話し「世界のトレイルとみちのく潮風トレイル」というタイトルでweb授業を行った。

事業番号-2022-14

事業名／業務名	ハイカーを対象とするヒアリング調査の支援、講師登壇
事業実施期間	令和4年2月4日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	文教大学　国際学部
一部委託先	—
事業概要・ 実施内容・ 写真等	文教大学国際学部 海津ゆりえ教授ゼミ内で行われた『「旅の力」を掘り起こす　みちのく潮風トレイル聞き書きプロジェクト』の開始に際して「長く歩く旅ということ」というタイトルで講演を行った。 学生がハイカーや地域に直接ヒアリングを行う前に、事前ヒアリング対象として学生たちからヒアリングを受け、注意点等を伝えた。ヒアリング対象となるハイカーの選出、協力依頼等、とりまとめを行い、学生とヒアリング対象者を繋いだ。

事業番号-2021-15

事業名／業務名	歩こう動こう 脱メタボプロジェクト「歩くことの楽しみかた」講師登壇
事業実施期間	平成33年10月6日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	株式会社第一広告社
一部委託先	—
事業概要・実施内容・写真等	30～50歳代の歩く・動くなど活動量の少ない働く世代を対象として、脱メタボ！と健康をテーマに「歩く」を通して自分と仙台を再発見するというコンセプトの「アルークワーク仙台」。その企画として、「歩くことの楽しみかた」というタイトルでのウェブセミナーを実施。撮影された講義は期間限定で配信された。

事業番号-2022-16

事業名／業務名	ラジオFMいわき「いわきの歴史」講師出演
事業実施期間	令和3年9月30日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	株式会社いわき市民コミュニティ放送
一部委託先	—
事業概要・実施内容・写真等	FMいわきでは、以下を目的に「いわきの歴史」を放送している。 ”いわきの歴史を、「磐城平城」をキーワードに多角的な視点から掘り下げること、県外の研究者を講師に招くことで外から見た磐城地方を概観するとともに新たな歴史像を構築し、様々な知見を番組を通していわき市民に発信して理解と誇りに繋げること” 同番組にゲスト講師として招待いただき、「歴史を現代に活かす取り組みについて～浜通りの「道」～」と題して、ラジオ出演を行った。 76.2MHz FMいわき

事業番号-2022-17

事業名／業務名	宮城野外教育ネットワーク：MONミーティング「海とLNT」講師登壇
事業実施期間	令和３年11月27日～28日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	宮城野外教育ネットワーク
一部委託先	—
事業概要・実施内容・写真等	東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県において、その豊かな自然を背景に産学官の連携を通じて、東北のブナ林における野外教育を開発、実践、発信し、明日の東北・日本を担うリーダーを宮城県の自然を活用して育てることをミッションとしている宮城県野外教育ネットワーク。 その第8回ミーティングに参加し、キーノートシンポジウム「海とLNT」のスピーカーとして登壇するとともに、みちのく潮風トレイルプチセクションハイクなどへの同行を行った。

事業番号-2022-18

事業名／業務名	みちのく潮風トレイルのトレイル調査活動（リッジランナー）
事業実施期間	2021年11月８日～2022年１月31日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	NPO法人みちのくトレイルクラブ
一部委託先	—
事業概要・実施内容・写真等	秋に実施予定であったみちのく潮風トレイルのトレイル調査活動（リッジランナー）は、各地域の感染症予防対策を考慮して、一時的に落ち着いた11月に開始。また、地域連絡会やMCT沿線市町村とのヒアリングに参加したこともあり、年を跨いだ2022年に終了。女川～塩釜間は1月末の感染症拡大と島嶼部のフェリー運休により、今回の調査では割愛した。 1）スルーハイカーとの交流 ： スルーハイカーのスタート時期のずれや感染症回避のため、スルーハイカーと会うことはなく、本来のリッジランナーの役割「ハイカーへの情報提供」や「ハイカーからの情報収集」によるハイキング体験の向上は達成できなかった。 2）トレイルの調査 ： トレイルの状況や道標の確認、倒木の簡易的な処理は滞りなく実施。とくにテープは、MCT開設後3年が経過し、経年劣化による損壊や引っ張ればちぎれるものなどが大半であった。テープ耐用年数が3年ほどであり、周期的な交換の時期が把握できた。 3）市町村との情報の共有 ： 2021年12月に行われたMCT沿線市町村への「ヒアリング」並びに2022年1月に開催の「地域連絡会」に参加する機会を得ることができ、トレイルの生の状況を伝えることができ、損壊箇所や工事個所の共有を行えた。

事業番号-2022-19

事業名／業務名	みちのくトレイルクラブのアドバイザー業務
事業実施期間	2021年6月1日～2022年3月31日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	NPO法人みちのくトレイルクラブ
一部委託先	―
事業概要・ 実施内容・ 写真等	みちのくトレイルクラブの全体会議への出席、各種相談事項へのアドバイス、また地域連絡会やサテライト連絡会へ参加。 みちのくトレイルクラブでは現在ガイドブック制作の予定があり、いわゆる観光ガイドブックではないトレイルやハイキングのためのガイドブックとするために必要なアドバイスも求められたため、事務局との相談を行い、適宜必要な会議に参加し対応した。

事業番号-2022-20

事業名／業務名	九州自然歩道40周年記念シンポジウム開催支援業務
事業実施期間	2021年4月1日～2022年5月31日
事業種別	(1)歩き旅に関する調査・研究 (2)トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3)教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4)CSR支援 (5)地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6)トレイル関連商品のコンサルティング (7)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	九州自然歩道フォーラム
一部委託先	―
事業概要・ 実施内容・ 写真等	九州自然歩道40周年を記念して開催されるシンポジウムの開催支援を行なった。本省への提案から九州地方環境事務所での実施につなげ、登壇者の選定に対してもアドバイスを行なった。動画配信に関する助言・支援も併せて行った。 シンポジウム当日は、他の長距離自然歩道事例の紹介としてみちのくトレイルクラブによる、みちのく潮風トレイルについての話題提供も行った。